



玉川通信

～ かけはし ～

学校だより NO. 4
令和6年 6月28日
昭島市立玉川小学校
校長 小瀬 和彦

星祭の候となってまいりましたが、地域・保護者の皆様にはご健勝のことと存じます。日頃より、本校の教育活動に御理解と御協力をいただきまして、有難うございます。毎日、玉川っ子の元気な「おはようございます！」という挨拶からスタートしています。

親子で一学期を「振り返り」 夏休みの「目標」を立ててください！

七月は一学期のしめくくりの月です。一学期の学習と生活を振り返ってみましょう。「振り返り（メタ認知）」には、2点あります。

第1点は、自己評価・自己点検（セルフ・モニタリング）です。自分はこの1学期で学習と生活それぞれについて、「何が分かるようになったのか」、「何ができるようになったのか」、また「何が分からなかったのか」、「何ができなかったのか」、振り返ることが大切です。

特に、学習と生活のプラス面に目を向けて、「何が分かるようになったのか」、しっかりと振り返り、お子さんの成長を実感させてあげることが大切です。

第2点は、自己制御・自己管理（セルフ・コントロール）です。セルフ・モニタリングで明らかになった課題・よさについて解決策や「どうしたらもっと伸びるか」を考えることです。

具体的には、「どうしたら分かるようになるだろう」、「どうしたらできる

ようになるだろう」、「どうしたらもっと伸ばせるだろう」と問いかけ、解決策やさらに伸ばす手立てを考えることです。

解決策や手立てが浮かばないときは、ぜひ、親子で話し合ってください。そして、夏休みの「目標」を立て、目標を達成するための計画を立ててみましょう。

特に低学年の児童の保護者の皆様にはご支援をお願いします。

読書のすすめ

なぜ、読書をするよいのでしょうか。そのメリットはたくさんあると思いますが、大切なことのひとつが、「想像力が付く」ということです。

本の中には挿絵が入っている物もありますが、ほとんどは、文章や単語から本の情景や場面、その背景、登場人物の感情や思考を想像しながら読み進めることとなります。「この人物は今、どういった想いや思いをもっているのかな？」や「なぜ筆者はこの本を書いたのかな？」、「どういった思いを伝えたかったのかな？」と想像力を働かせることとなります。その経験が、日常でも相手のことを考えて寄り添い、共感することにつながるのです。

例えば、地球の裏側で、「大飢饉がおこり、人々が飢えで苦しんでいる。」というニュースを聞いた時、「あーそうか。」ではなく、「飢えで苦しんでいる場面」を想像することができ、共感することができます。共感することができれば、「今、自分は何をすべきか」考え、行動することができます。

7月の生活目標

「物を大切にしよう」

＜学級での取組＞

- ・持ち物に記名をし、大切に使う。
- ・公共物を大事に使う。
- ・使った道具は片付ける。
- ・物の無駄使いをしない。

教室内の物の管理が安全な生活につながることを職員間で確認しました。まずは、所定の場所に物をかける、不必要な物は持ち帰るなどして整理していきます。また、「物の乱れは心の乱れ」とも言うように、心理的要因を含めて安全第一で学校生活を送るよう指導していきます。